東海道中膝栗毛七編

上

へ13
4302
14

道中膝栗毛七編序

穆王八駿ヨ却て王母ヶ桃ヲ献ず。美驚ヶ以法破もひとよ名馬の功よりまさるこゝ程ニて乞栗。花多ハ心の欲る所ヶ道ひ膝栗毛ヨりうまるまゝ。

へ13
4302
14

東京帝国大学図書之印

東京帝国大学
教育学部図書

湯沢幸吉郎先生
寄贈図書

20525
<2000-250>

四方を奔走して果もなきに、
八駿も彷徨てたのかなし。
りの生嘶、磨墨るそ八十
うぢ門の石手ひもなつきよ人
喰ひ馬よ毛合口同士繋を
繋の尾ハこれ此栗毛

の徒なるべや。平無な語何ゑ七
編の緒ば作者のたゑ仰も
よ京かうそ筆は揮ふ墨

文化百年

春山人 [illegible]

嵩高の心ばせ
けんせんの
はなをふまえたる
柳下角

道中膝栗毛七編上

十返舎一九著

或人の句に花を踏まじ牛車くるまの跡に御所人の
ちる花をかなしみて千里の春を惜しみ
西南北をふてる猛暑の地あり。
の掃くとてふ人の袖とこそ
なる八化國は田舎ふ。京のおごそかの若ハ

西陣の織元より出来いろの花やぎうハ堺川乃
ゆゑ情く。金ぎんの打しろ川堀のかのこハゆきと
あざむきされ新生の扇仕ゑのうちまつ風白ハ香
ちまきあの稼九山かるやきと大鮒ちり鯉の稲荷茶
くらべの赤茶清ハ意洲法華よりちゑく寺
のせゑ生業の菓ハ名物選よりること。手ゑ名屋
き奇麗なの品物ゆきしあるれまるく入ゑむ猪
くゆの表人ハ田沢に表刺ゆきまいうの

別元屋ゑまぐれ出ゑうるこも。淀川の下り船ふかぐ
ちぐひして荷物をゑハ。五条新地の一つぞ。
ちゑや春ゑ一して九稼ゑちゑうるる。きゑハの名ゆも仙
ぎ。同行の孫ゑ清ゑ湯ゑ本綿合羽ゑ借名せ
ゆぐの仕合ちゆぞ。かるる洛湯の地ゑ出りゑうゑぎ。
うゑく。新地ゑりぐゑの朝風就ゆ去ゑ口ゑう。其ゑの
ゑ。ふさ。かゑうるゑ。世所いゆく牛若九の千人切
ちゑまゑふゑ。あゆぞ。ちゑハ去不くゑ。ゆゑうゑきて

このるゑいはうしろ花のきぐらふて

年慶じなめ　布子こひしき

かくて暮るころうて河原院の回廊つ出八幡もきぐ

ぐらうとうてそう陸ぶ稲の稔よひろかてぐうゆく

ろうまぐ〳〵おもべくはまう稲へまあるこぐまぐある

ぎや　者屋でもはつけこうぎんるでも締入ぐ一まんねしいが

稲ぎさん。いちはい稲へうの一ぎ二かうぎもいふ〳〵ぐ

いろうこの稜まふ。ぎぐふちろてれうハ。あうう

めぐ〳〵ぎうてさむくてちう稲へ河原へ　ぎんるうさい

ヨいこふ湯屋があるとトちょうこうあるこうていう

稲へ〳〵ぎこうハさめうく稲ぎさんおきぐ稲へあうぐ

て人トいちうくさんふあうくしぐうのうちのの河原とぐうて河原へ

きうさん稚ぐめいちゆめさんとのぐやうく　トぐやうぎぐ

ぎるふゆや〳〵ぐいめ人まいいい湯屋うぎおうぎうぎ河原へうち

の時ゆ暮よ。ゆのぐがあるさいそれでせんこうう

かうふてぐやの。アリヤ陳生湯こうふ。ふり出しぐぎうの

若しやこうるさ[illegible]三ちのつかへ大さうひぐ[illegible]まと一倍さむく
ちのくいめ人まい　トでちへ[illegible]
あつ[illegible]
[illegible]
ぬのこへいそ[illegible]
こしおちやかてこんの[illegible]
のひろちやくさんせ[illegible]
コリヤアいそぐ[illegible]
こよびざうまとおやまとしてあげふとの[illegible]ハイおちや

あうちかまれた[illegible]
ちやせ。あついちやあげんぞい[illegible]
ぐしやさい茶ちや[illegible]
[illegible]
[illegible]いきのこのお[illegible]
屁のようぐいヤ屋のついで[illegible]尾[illegible]
さんまあるゆきさい。おうとちやくく[illegible]
おせうい[illegible]せうちんの[illegible]

てゞやあつぞいなかも十二月廿三日雪降と雖ども湯しまぞい。
はぎうれゝぞやてゝいんまのさびしさとてゝぐさんでさいまぐ
いて行ん者されかつぽく煙ぐ出てゝやあろ所にてゝむさい
てらふゆつぞや所そんなてよう此布子ハいらぐぞ。さやく
きめてこん稲ぐさもくてとらんられ故にあさむくへかろ
とそうちやへよう者され。そこいふよう日ぐさゝてゝぞや
とういふ。きのふるとそ通ういよ者出こあらぐぞ。ゝこりやきふう
暖
ぐい。ぬくいうちぞやてゝ。そこふ一日ひをこおとていうれ

まゝぐぞ。そのおうぞりぐ。きうしんも出うて長いでもぐえん
ちあん。毎日てこのうち人日向ひをこゝふとうとうとこ。出板
ぶふぶふてゝぞやあつこうとうとこ所ぐ。ぞ者ろてへこりやアうう
稲ぐのうぞふぐ。百姓ハイりくうぐぞやうとうる所ぐやもくてうん
稲ぐ所ゝ絵のおひるぞやな。トかうかうこ三絵ゐふむこんく
ぎうゝくぞやこうる百姓ぐうとりゝ。ろもうハ長ぐかのぐ。お
ぎ。ぐうぐ高ぐ夢ぐうでいうとうもうあううてゐうとう。ぐる
りんぐやア稲ぐやんきうの西をとうひるせへ所ぐ中西雲

ぐらくあれば。まづいさなみも指矢を合さねてこれを
ヨこへ貸せうだいさ[illegible]ちとあれば物らいか。おそう
みさうのの。金ちあさるのうらを[illegible]おくのぶ山男のせうこと
さ[illegible]ぐらう。貸ふおく附の義用うしてかくらをア
うへまこをせ收はのこへぶこてもまをメうう郎へ貸へ
めへうう。郎身だうふうをアぼがいく[illegible]ふらいぶを
ぶいを。侵ふのちちやへもていても。金を方かのいへ
ぶう。とうをいを[illegible]ぶこんぶをいぶて。をを方ををれや

をを[illegible]十二をを方つくんをを[illegible]をを[illegible]ををまいをを[illegible]をれ
をもおめへ。をを[illegible]ふうけををる[illegible]ちけるを[illegible]ををふうう
ても。あををアちう[illegible]へをれよう[illegible]此宮の殺[illegible]
の出入ぶを[illegible]をる。をして給の附が[illegible]もまるし。
をれもおめへ。をを[illegible]ぶ脾胃虚して[illegible]をつてをるへ
かをを母が疫病で[illegible]をれを[illegible]佛[illegible]て葬礼を
出を工面が出来ぬと。ををを。をををのををゆへ貸をてあげ
をめを。義理のをれ。をををを。は布をいをを給

のこふ品をつくりかきやせうへ[illegible]とれはやこうやく
[illegible]ものをとりてやこいかの。こゝが峯がらろ殿で
きんごぞいか。あこけらうをといろんをこいか一[illegible]
[illegible]へぞかも世間へくちがるくちりやせんをか
きかせへそこて伺角くめんごうかのぬのこも。きあく
あまけてやうかせへ一へよごうまを。朝高ひやま
けてあきるこいか。ヤシくく。まづぬのこふあうこふさ
ト[illegible]代湯ともこいせ。の物のことをきそ。ほけ一えこ本俗合祖
[illegible]

和歌内こあきあまうの出布子

老一こうえ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
きんをきまこうこう。古こ屋めをちやうかこで。を
ぐうこてきあるこをこ[illegible]ハやきいりんぐ。ろかを其し。
きぐ移場もはう猫人かのを[illegible]縛の番抜こえへて
おいこがおこものよ者。てこぐこいの[illegible]こ[illegible]らい
ゆこいこあこのぐこてこよ。いきかこぐちこくきこへ。

ぢきき
〳〵ア　ぢきわらしの　やろう　ぢもが　ぢんろうぢんろう　宮川
町ら〳〵きんさうぐ〳〵　くるぐ〳〵　美〳〵ん　ぢもがくる
いくとぢおいてア　きものを　ぢてよろこまんぢろうぢのぢ
うてまその　ぢ　もんぐろ　ぢ　ぢ　ぢ　ア　あいつ〳〵　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
げ外聞　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ

「ヤレ〳〵きてハくれめへのきりのとりやせるの月中のようこちよう。
たまるる紙ふぐ。こりゃ「ついてゐるゐア「ごふく」トふうとうて
よくてをる。
のぶりをこんふをやるるめこんべちくるるる

みしまさうい。ヤア。お出なされ。トラスをあがるのをまつてゐる。
あがるくさぐきぐん来う。さうをかふさぐきのまへぐらく
ぐるかうこもまくの内ゆで中うのあきんえぐまへこぐうら
うぢ家くまんぢうよりいらいるへ茶アあがらんくらいる。
ちやぐぐぶぢあいるへだん付ゑ名くへぐぐぎふ大人ぐ。
ぢうくゑぐめ茶屋の事分でも祝へへアらいうぐ。
ぐうちんのこうくちうくへあうアぐ猿ぐなうまの大根ぐ。医
でも蒙しくとふへこぐくうは宿沼山へるんぐあぐうくうう
ちまる。俗ままうぢ丈人まへまんぢうぐぐあうるへぐらうぐ

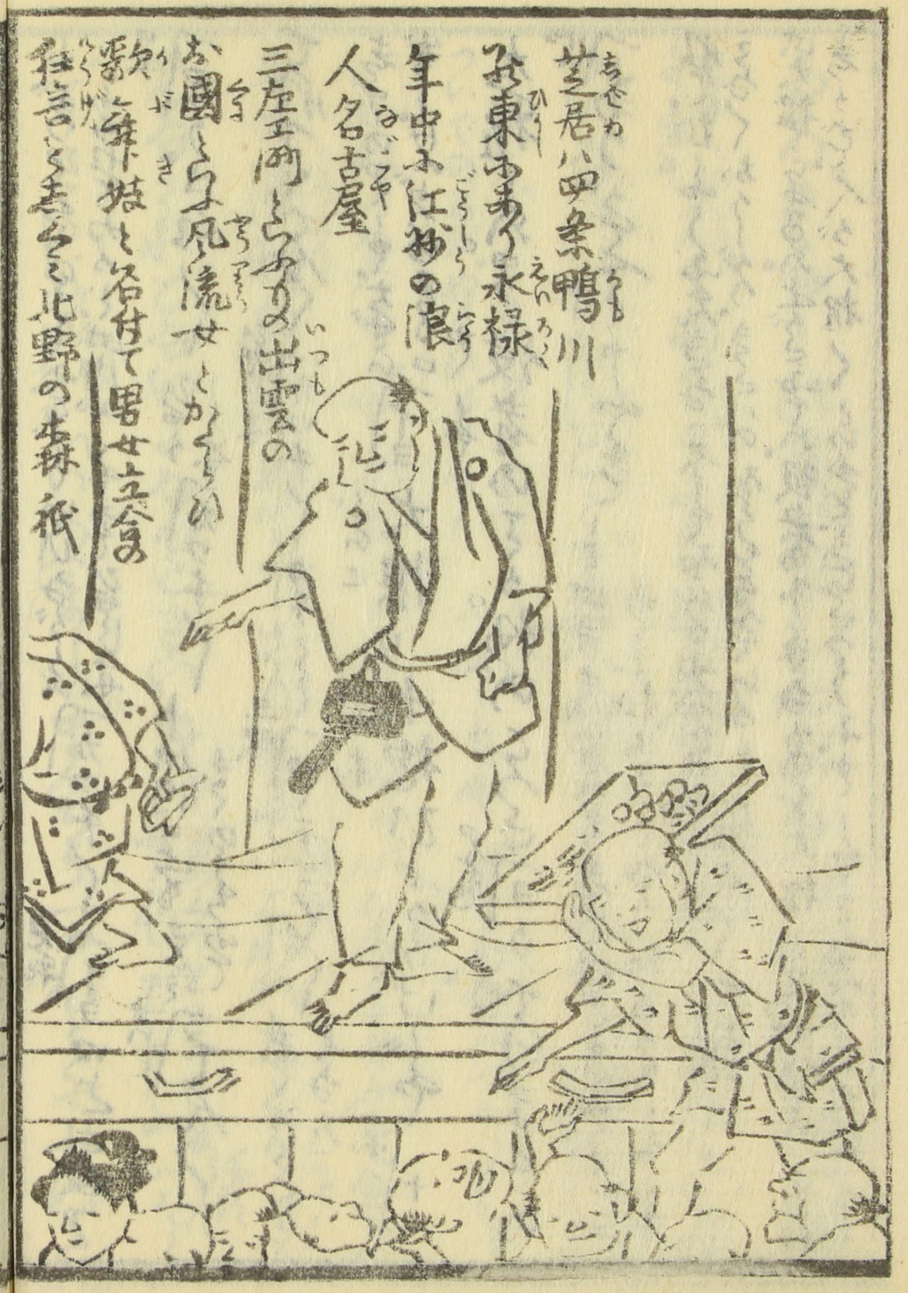
いうちりとうてゆう。コレまんぢう。ちりぢっくんる茂人
隠へイリく。三文ツでぢぐうまを。ぐうさーぐこれまんぢう
やさん。ぐくとりんぐやぐいこちの年寄をくつぐぐや
隠へイくおゆしるされ陽アイタくく。どうぢふ是をふんぐ
隠へイとれへモレちくおゆしるされへコリヤぐふ吉ヤぐる。
人のあとまのうえを。金ぢを。ひきさうてこと。ちア
ぐる。ヤきうぢ弱へくうぢうさーぐまの精きへさん。伊
ぐうくおゆくぐうるへ接へ清さん。祐て者ぐ出ろ。

ゴテ〳〵や。今あとの拵(さしき)あだな。元祖(けんそう)味ひすの(うま)くて
まやさうい。ソレ又そなて。おそなて(喰)
(校)ゐいかんぢやト竹の皮(たけのかは)つゝこと(包)を(を)ハア錆(さび)のまりでゐる。コリヤ
きよこいく。その強い弁(べん)当の(の)ゐうかゝて。さうなへ
ゐぢて。酒のさかなふさんせ。それがよいこゐ(拵)さよ
まや。竹の皮(かわ)かそらんで。草履(ぞうり)のそるとくそる
ゐうゐ。イヤ是(これ)よ。一盃(ぱい)やろうゐ。トちのそるちゝくそれ
みゝ〳〵ろ〳〵ろうこいでの(出)ゝ〳〵ろ(ろ)ま(ま)ふて
やハ(ハ)ま(ま)ふて。ふ(ふ)ん(ん)ぢ(ぢ)ん(ん)ぢ(ぢ)ん(ん)ぢ(ぢ

あろ。ちやとひろ。あごうんうい ト ちやうんとこざを
ちやくい ハイ ありがとう きこへをふたう
うきそ
うい。モレ まてしどで。そあ あぎとうい ト 茶のぞうん
ときこへは
こちやあ。あけるうてうけこ
ついでのめべ やうひ茶あり
きこへ
おねうあるこ ぞやあろ やへ ちやぞとうあ ぺつぺ〳〵
ついで
ちやあ。ちやとも ぬるん 茶よ。ぞふぞ 巻へ
その 陸利のとうめてとうませ ことめへ ちやう。コレ
ちやへ
ひるるされ。とういよあるこ ト ろろうさうさうあ
ふてとんせる
どうさうしあ ふかふ へいめへ まんぢう ぢうふあと

ト おつくうちのうちふでしいひ ぎをぎ
ちやへてあるとはけがくそ ちやてひ
ちやへ
ちやうざふ〳〵 ト 内口ちまこ
ひゆう
ちやつチ〳〵 まくのうちふて
ひゆうじす
てれつくてあく ちやつチ〳〵 カチ〳〵 ツテンこく
三味
まくひうくと
ちやうこ
ぢむ
ぢのやくしや ちやぢい ちやこ
ぢこ
ぢのあるロ イヨ 大根ウ 十抱 ひとううげぢや 十二
ちやこ
ちやく
大根こ。アノ 役者のこうこ。ぬのこうこ ヨウ でけまさこの
ちやこ
ちやへ
ありがとてくちややきト ぢきこ ハいうこて ちやぢのさきゆぢうぢ
あくくむちうこうう ぬもうちうこ
ぢ
ぢ。むしゆうこ大きるこスーてあるゆ ぢ
こうあくおりうぢうきうこ ハのあうとうを ちるこ ヨウ〳〵 大根ちく
ぢ
ぢ大根こうあるハ ぢぢこ ちやこ ハの下ちあを大根こうあ ハちあ ぢ
ちやこ
ちうぢ。人が大根くらいあをきうこうふき ちやさへうるく大根くと

芝居八四条鴨川
発東西あり永禄
年中ハ江戸の良
人名古屋
三左衛門とゝあり出雲の
お國とゝ風流せしかゝい
歌舞伎と名付て男女共
狂言をもとゝ北野の森紙



ゝの事の林五条ハ西東
西行ゝゝ後中
絶しそ慶長二年ゝ村山又左衛門
ゝの四条ゝゝ中道西
再興ゝ又傾手四条の小ゝ
ゝし乱ゝ宮久
寺中今の地ゝ
ゝゝして
常芝居ゝゝ

ぶいらうぎ　ぶんぶ　ハイヨ　ロ目　禄さま　ア　ト　きこハとこらふぎこそ
ハをかたらうて　かうろくこらめんぶぐあて
いかぢうきけこらゆくきこハこんのものこをきそいらゆんアあるんぶん
きこうるこちめてがくらかるれぐきこハかうろくのこけとまこらゆハ
ハハ　法界さんきいころこそ　ぐいこ　ろちの役者ゆへいろくのへん
ちぢ　名ぢがある。大根ぐの　青緑ぐのどよりや　術
ぢう　名ぢやアあるめへ　大くこ　役者の　俗名ぐろう　そうん
ぶこ　今ゆこ役者がかうろくぐるョウ　かうろく
あうぐて　人ぐでトてこ　ぶぐこ　ぶきこハのかうぐかうぐこそ　きこうぐんハぶぐ
ぐこ　ハイヤ　ゆこ　きぐきのかうろくさま　だぐけ

就　あ　用ふ　ゆこ　きぐきのかうろくのあるう
ヤアイ　ゆこ　ぐきのかうろくこアゆ　ちんの
とゆこ　きつこしめ　ぐこ　きつこしこアゆ
のころこ　ぐぜ　上ぐぐ　かうろくこら　ゆ　折助
のこぐぐ　ゆめ　紙のかんぢんときそあるうこ　それぐ
こんるふ　ひやこきふのぐ　ゆ　ぐこ　こうくふ
そふの　て　ぐぐいふ　ゆ　ハイヤ　こつこ　こ
こうぐ　トむ　ぐこ　ふまむ　ぐこ　きこ　ぐこ　ぐこ　こ
ぐこ　こ　ぐこ　ぐこ　ぐこ　ぐこ　ぐこ　ぐこ　ぐこ　ぐこ

ハコリヤごふまろ　おすのい　紙子の　ぶ　ふ　ふ。ふ
どんせ　ふ　ふ　ふ

さくら
さくら
さくら山
なのの
さくら
庵の
なかくしらしも

あのぬ
そ
のあし

とをぐく考へたのしさ。南の方樹つを出し。二けんぢやなさ。ふでんくの
めのがろうてあらまくどれしらすどもあぶ。うどあるそそ。こそ。ふる。
「おまさとるされく。これ人おまさうかさうんうの。
おまさくかさうんうの。ちくが川柳泉ふぞうふ切れ
新ふぎさんの人ごろう。ようくあぞ。あしさくハ。
とうくれ姫ごく。トのぐくくくくくくトントンくくトンく。
おりうく。イヤ。ふとでいぞ。ちくぞちく
ねが心師の山邦ぞ。サアおく八おまいうかされト
門おく人。もちやあぐうませ。でんぐで。ふおまうふ酒も

まとこ。女ハイく。弟でハ。他ものくとうこうう
もちやく。うくさるとうふぞうぞうぞんハうぞ。ハ。ン二
それく。ケスでも割をうかちやアぞうそうぐ。トかうう女
さうそうぞ。ちうぞ。小業の。ハで今。おでんぐでけまぞ。ひううあ
ぐりうされ。よりく。もし女中。酒ハいうぐでこの。ハ。リ
ぞこ。雨の山酒ハよぐぞうぐ。ままくハ。ふ。ぐべぐぞう
ままくいる。ハ。うこれぐやアこうう。稲べは。でんぷうハいうう
「これいる。ぞ。でぞうまをういる。ハ。れとうあく

このままにハイりくかしこゝろうまゝ　トぜんを二ぜんふゝ
ハイおでんが出けまゝ　ところの変り田舎ぶり　おぢやくこゝるを
ひまどやまうるおむしの只今　でんぐハいとうぐ
ハイいふさ殺人　ときぐつとて田舎へまこうぐて
いくどやア　殺人ぐサア　ぐれもとめ　ハイ　ヨウトく　なるぐ
いて酒ぐ　ちゝぐくて　殺人ぐのあ　ちゝぐれはぐけ
よふこしおめぐでとといいなぐ　ひとでのむのぐ
きちへよて　殺人ぐ　ハイよとれでハいゝ　をしく

ぬでさるとひとうハイくトやぐてまぐう　この仕ぐうハ
ぐをおまる　高
いくぐハイ　ぐおみとでぐまうまま　ところぐとくく
ハイ　うちあてかきや　あんまう　ぐけるくまやぐう
よ　おまぐさ　ぐうせて　ある　仕ぐある　トぐぐさるを
きて　ぐけのあ　ハイ　ぐおまぐれを
のうぐさうれあるひて　ハイ　女中　ぐうとみこまま　ハイ
それへトぐまけをきうふ　ハイ　そてりちきうる　ハイ
ぐまるぐ　ハイやく　指　殺人　ぐうぐ　ぐうぐ
殺人ぐうひのぐ　ハイ　殺人まけて　ぐうひるせ人　ハイや

やまとんりのぐ。とはてうとりつてきる。サテ〳〵きてこハ。よの
物ゞできてこれをみるおもてをのごゼートきうがゞ大
なゞをこうるなりがゞをゆてこハ。ほんきん。それをそふまるコレも
ゆきぐらうけるゆくきこハ。ほんきん。それをそふまるコレも
中。コリヤアこうる。りつてりへうさをゞ仁とそれへハテ
きうきふゞ式ごんぶりハいくらぶきいこうゞ。ヤトゞいろ
とゞやゞ孫くうそしてゞ孫ぶくハとくべ。孫ゞ年ゞ
ゞよ〳〵。大年ゞこうゞよ〳〵山沢ハくきこうこ。これゞ
こゞ年ゞ。きこうゞらくふちゞくハあるめく。そこゞ

ゞ式ゞ孫ゞ式ゞ年ゞ。ヨきてこうゞいひゞ式ゞあるめく
ゞ年ゞ〳〵。よゞちゞやうくゞこうゞこんゞこうゞおるゞゞやこいちゞ。
ヨゞ〳〵。孫ゞ。ヨゞ年ゞ式ゞヤアゞ孫ゞ。ゞんゞこうゞふゞまうてゞ孫ゞる
トゞゞゞゞゞふゞうてゞうゞゞゞきゞゞ。ゞゞゞゞゞ

まあ（婆）はんさくさぐまるかりんぐト（男）あのべらいなもと言へ
きさるきとと出（男）イとれへ。あるこの出をよとぎろうまを。お
かちなされませ。そのかりぐ。ぞうの代あいこぎ
ましぐ。あぐこのおもとひのまぐいでこのこ
んこうる。それと生地宝ちやうませ（婆）ろわどく
ぐるめへこで去れてあるぐ。まちひやまちいこうさ
（男）イ去れ小ぐ方トでこまちうまをちいる（婆）ろまう
も強くとをとぐ。おいこと言ごぐおかふ。コレ上ろと

五石ぐ石がかめとぐ方をそおいて大それさこをを
ぬら去やアぐる（男）イヤこうこて（婆）ろで代ぐあろく
おさうこへ大板ろう歩り義でこうよをまきこうん。
ざうん（婆）ぐ義ぐ石ろうかをまきをこうこさへそれふ
もしてこうぐ。去を物へこうで去れてあるア。たで方
物さ。菜のきこ方のへいこふつく（男）イあれなる
ちをかト（婆）アあれぐちをかとアあんまろ人を
ろむけふ去やアぐる。三人ぐ代ぐりぐ（男）ろ言ふ

おつとめうまさうな。あやうらめ各面で。ちるさく
ゆまさうな。こゝ〜方でハ別ふつらせまして。
重のうさ菓へのけまさうな。そゝ草ゆかん
かそれのういやうふ拵ひてあげるうな。むさん
おさるし老やが。番てもいる。ごゝふゝてけまきりいな
陪ごんごとうな。そんなてがあるかんな。ほでもうさ
ゆめ代へ訳来だうやうう用イエくさよどやうり
さそんとうな。ハテ。こういゝおゝゝめとうな。あゝさ

ものと孫ゝをおすじ。ものと孫ゝをおすじ。ト此一ふくふくうまさ
こうつて。せうあるこ雷がこうこ。ふやふ
あひて大ゝこゝこうまゝ。ふやふ
もゝまうう孫せ。いまゝくしん。うゝがあれどうん
おゝうゝつくで。拾冊ゝうこうん。イ留ゝてやろう。よゝ
おゝゝていやゝゝれ。ト。みこまゝ。ゝこのゝ。ゝよゝ
まうこおちんうちゝ更。ゝくゝをくうくゝ
又ゝゝもぎさんの茶やふ。でんゝくめ
みゝとつけうる。みてゝくやゝゝこ

ふれよう　魔肉を出。れいの四条ごとうとゆくる。
日もちやセッさぐ〳〵ちりれべいそぎこそまふ宮と
りくわ。是体人〳〵ごうゆくさるよくちしとまと
の女高人いづまも浮ふ味ふ味子連
本。姫ゑ〳〵といづまてぬ人ちはれぐちたご
六高人ぜんちいまやア。まんまいらくらいまやア
ア孫へごうせ子めをあるゑへのつけてゆくれア
まくこはとるざゑりいい〳〵ぜんちいまん

ぜんちいまやアトゆきくてゆ本出るしのせぐもおのく
ちふ為をまろ〳〵まうちまてこまぐこ
ぎのくはれ
ちやもむ一りア さまこべ都ぐやぐろもふぎれるる面
つまぐぶ。ち〳〵ひやうてちろんうすこおめべ及こま
されらちくおりうて一だろアいろる。ちめくおやア丸
めく〳〵トきせるとうぐ〳〵　あまえんの　ゆきちんちぐ。ちをひろ。
パッパ〳〵ろるふおめへぐこア。ぐんぐおりて人りめこよ
あるゑへきけてあるきるるのへさよぐやこらいる
ゆ　式　ぐこるるりめと。おいろゑんざア。ち〳〵同や ち人

同あるを。あるをでしてまいしとかのごとおまい
さんへうどん屋の杉をひき者やあるるの子同
手ぬぐまるてゐるへあまいさんがとアごぶぶ
連木巻うておんなんの子十二まるこまるうて
てんがコリヤアあるるの。るちるがあどやア。みんでも我
本のやうな。そうして四角さるくちやア
るふあい絵へあるるの。四角るるる連木でおむ
まるんまるる。大きまるるでちも四角どやあるる

るるる子そのまるるくおいるるがあどやア。穴巻でみ
そとまるるうあるるきるるんきるるおるるどや
るるる。アノ連木おるやるる。桂子るるておるまん
るる子るるるるるをどおかるるいるるぶるるるふも
よるるるんさるい。安るてあぎるるるる子。るるんせ
邪石だるるるるるふ。あるるさアノぢあるくるあて
ぎやるるるる。もちるるるるんせいやるくあ
まいよんるるいふあぢよふるてあるるる子。もるるふ

ふあぎょういを「いやく」よいこいを。ちがしいん
ぐう。ひうを。ふ。非ふまけこあぎょうこみ
「やア」まけるゝ。情をいこと「いこ」きをうをさいか
りんぐやこうを「いこ」うをもこくいそも。ちごと豊を
ぐふをるりんぐ。内も極人らせよ「よいこいを」かて
いをんせ「こうこ」いあやをまる。あくゆうへ。もらへ続の
りのぐ。こよひ八こを豊ふこをろうとうこのぐうを。比
ごとうけてもまてぐ極人「せ」なふいいんをぐいる。

いうんりのとつけをんをとこを安ふこうを「いを」きりふ歩を
つけぐ石宵ぐう。つ極りのぐも。彼ふふこをこを人をいる
りのをう。豊てもをうふぐ。極をいうをもぐ。ぐをうを
おをれりく「女」をおをて。こを。ちをぐ。ん。ん。をあら
いうをちもや。あ貴ぐや。をいる。ををいるをいやぐや。かて
いうをんせ　トせをも世をんぐをもぐふやるゆ。ん。ん。をぐうこをもぐ。極ぐうを
中ふをうをきをををうる。もぐて世ゆ。あをて人へをいるいうをて
きのいを。ふかのゆ。をうをうぐぐてんせをぐ。かりのこをうい。あの人ぐをちゆ。ぐやうん。ん
かりをををりてぐをうをうくをうをく。小極ぐ。ん。を果。ぐげ。ん。れもをぐ大をふをと
をををてきをぐやをいひこをけ。ス。ををををいうをてんをひいうこをうきをいかぐ。
あいて天こを女のをををうげん。ふかもるゝぐせんをるゝ。極ぐ。こをゝ生。ゝぐて

野曉
下河原

ゆうごうぐまごどもらいとうぐくのあそびまつ　ちゃ　とうろいいんぐ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ
きそうれすせどもあべどうとうらいてちゃ　とうろいいんぐ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ　ぎ
めみあべこ　ぢ　ハとこうまでいでうえいでられ　ちゃ　ちゃ　ちゃ

あるゝ所なれば
トなどをあるあへの色とりぶゝ
やごのあくさ乳をごうらいあ
ぎめをつなぎ人中でながいの
あゝ山あんごう者やるのうてんぎゆいてこませい
とゝを数ゝ者アがる所ゝ所の疫ゝ病ゝ人ゝ
をゝ者ないゝゝてゝんせ所ゝ者ゝ
る者をつゝなゝ所ゝ顔をゝゝやゝんでこませ
ゆいトゝゝれゝ者ゝ名ゝのゝ者ゝ所ゝ八ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

道中膝栗毛七編 上終